

巻頭特集 かけがえのない生命を守る湿地
琵琶湖の取り組みを世界が注視している 3

龍谷大学講師 須川 恒
「滋賀県野鳥の会」名誉会長 口分田 政博
琵琶湖博物館 総括学芸員 前畑 政善

ヨシの話 ヨシ博物館奮闘記	18
環境滋賀 私の意見論評	20
地球温暖化防止活動推進センターだより	21
財団告知板	22
財団のひとりごと	23

巻頭言
未来学と次世代と 2

滋賀県立大学環境科学部教授
土屋 正春

環境人リレーインタビュー「環境の世紀」に聴く
共に考え守る琵琶湖レジャー
次代に向けて新条例スタート 10

滋賀県琵琶湖環境部 自然保護課課長 川上 毅

市町村 エコの輪
市民とのパートナーシップで
ごみの減量を実践 彦根市 15



滋賀県の豊かな自然の中で、
里山作業などを通じ体験学習する
「夏休み里山体験学習会」風景

(淡海環境保全財団 主催)

編集後記

『明日の淡海』の取材を通じて、それぞれの考えや立場から環境保全に積極的に取り組んでおられる方々に数多くお会いし、お話を聞く機会を得てきました。その時、必ずと言ってよいほど話題になるのが、子どもたちの自然離れです。確かに夏休みになっても、川辺で遊ぶ姿を見ることは少なく、昆虫を追いかけて野山に分け入る子どもたちに出会うこともまれです。「少年の頃に、日々の暮らしの中で自然に親しんでいなければ、そのほんとうの素晴らしさは、ついに解らないのではないか...」という危惧の言葉が、いまも耳に残っています。自然に親しみ、その限りない豊かさに抱かれて、きらめきに満ちた時を過ごす。いま、あらためて親から子へ、祖父や祖母から孫へ、その喜びと感激を伝えていかなければならないと切実に思います。それが、「自然の慈しみを実感し、明日の自然を守る」確実な一歩になるはずです。

原稿の募集について

機関誌『明日の淡海』では、環境や自然に関心のある方々の意見・提言などを募集しています。

- ・環境問題に対する考えや環境施策への意見・提言等
 - ・環境に優しい暮らしにつながる意見・提言等
 - ・美しい自然や自然保護に対する意見・提言等
- 採用分には薄謝進呈
当財団まで郵送・メール又はFAXでお送り下さい。

発行 財団法人 **淡海環境保全財団**
〒520-0807 大津市松本一丁目2番1号
☎ 077-524-7168 ☎ 077-524-7178
E-mail ohmi9@mx.biwa.ne.jp
URL <http://www.biwa.ne.jp/ohmi9/>
編集・制作 アド・プロヴィジョン株式会社

本誌は、環境や資源の有効活用に配慮した印刷物です。

